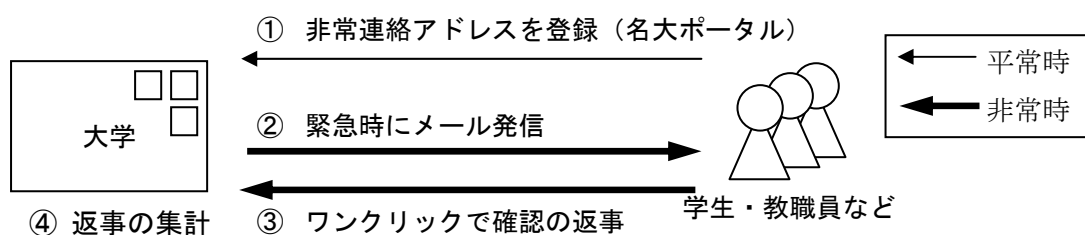


本学における緊急連絡および安否確認のシステムと手順

・ 想定される状況

- 突然の大地震発生
- 東海地震注意情報・警戒宣言
- 台風、集中豪雨などの気象災害
- 伝染病蔓延、大規模な事故・火災発生など

・ 緊急連絡システム（大学から一斉メール送信）

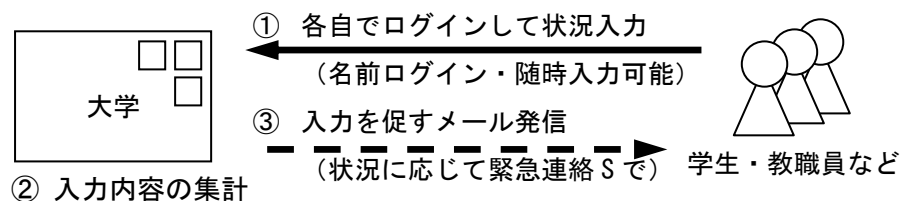


利点：ユーザー側で情報受信、確認の操作が容易

欠点：メールが届かないと何もできない（送信側・ネットワーク・受信側のトラブル）

課題：非常時に学外で受信できるメールアドレスを全員が登録すること

・ 安否状況入力システム（各自が状況を大学へ報告）



利点：ログインで本人確認が確実、詳しい情報・最新情報の報告が可能

欠点：ログインが煩雑、入力を忘れやすい

課題：ログインや入力内容などのわかりやすさの改善

・ 連絡・対応・確認の基本方針

- 事務連絡網、自衛消防組織などによる直接対応を優先し、システム利用は、全員への伝達・確認を効率的に行うためとする（システムにより確認できない場合は、最終的に個別対応を実施する必要がある、その数を如何に減らすかが重要）。
- このほかに情報伝達・確認としては、個別伝達（連絡網）、窓口、掲示、大学ホームページ、その他メディア利用などあらゆる手段を想定して準備する。